

はぐくみ

平成 29 年 3 月 1 日発行 No.86

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/index.html>

◆◇学習指導要領改訂に向けて◇◇

次期学習指導要領改訂に向け、昨年 12 月 21 日に中央教育審議会より答申が出され、2 月 14 日には次期学習指導要領案が公表されて今年度中に改訂される運びとなっております。その中で、以下のような点が改訂のポイントが示されております。

【改訂の基本的方針】

- 子供たちに求められる資質・能力と何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」の重視
- 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視し、確かな学力を育成
- 道徳活動の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成

【知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」】

- 「何ができるようになるか」を明確化
 - ・すべての教科を ①知識及び技能 ②思考力、判断力、表現力等 ③学びに向かう、人間性 の3つの柱で再整理
- 教育実践の蓄積に基づく授業改善
 - ・これまでの教育実践の蓄積に基づく授業改善の活性化

【カリキュラム・マネジメントの確立】

- 言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を育成するための教科等横断的な学習の充実
- 単元などの数コマ程度のまとまりの中で、習得・活用・探究のバランスの工夫
- 学校全体として、教育活動の室を向上させ、学習の効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントを確立

平成 29 年度を周知期間とし、平成 30 年度からは先行実施、そして平成 32 年度（小学校）、平成 33 年度（中学校）に全面実施となります。小学校外国語活動・英語、「特別な教科 道徳」（H27 改訂）を含めたカリキュラム・マネジメントが大きな課題となります。全教職員の共通理解の深化と各校での充実した取り組みが強く求められます。

～「外国語教育」の充実と向上を目指して～

＜英語教育強化地域拠点事業（春日居小・中、笛吹高校）、山梨市英語フォーラム＞

次期学習指導要領の先行実施が 1 年余りと迫る中で、県内においても「外国語教育」の充実と向上を目指した取組が着実に進められています。

2 月 9 日には、中小企業人材開発センターにおいて、「英語教育強化地域拠点事業に係る成果発表会」が開催されました。県内 5 地域の研究推進校から本年度の取組について、教師や児童・生徒の英語に対する意識・技能の向上が見られたとの報告がありました。

英語教育強化地域拠点事業推進校による本年度の取組と成果の一部

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| ・学級担任を中心にした授業実践 | ・CAN-DO リストの活用と研修 |
| ・コミュニケーション活動を重視した授業 | ・小・中・高連携の推進（授業交流等） |
| ・授業における教師の英語発話量の向上 | ・ALT との打ち合わせ時間の確保 |
| ・文字指導によるホワイトボードの活用 | ・モジュールでの英語教育の検討と実施 |
| ・Classroom English の積極的使用 | ・英語検定などの資格取得の啓発 …etc |

その中で、笛吹市の指定校である「春日居小・春日居中・笛吹高校」からは、「英語に触れる量の確保」や「文字と音とをいかにつなげるか」について発表がありました。文科省の平木教科調査官からは、英語の音声や表現に慣れ親しませ、コミュニケーション能力の素地や基礎を養う小学校においては、「絵本や歌」を活用した指導や、基本フレーズを授業の中核にしたコミュニケーション活動を取り入れた取組は、大変有効であるとの評価をいただきました。

また、2 月 14 日には「教育課程特例校（小学校英語科）」の認可を受けている山梨市において、「山梨市英語フォーラム」が開催されました。当日は、日下部小学校体育館において、5 年生（5 年 2 組：藤木教諭）の英語科「やまなし観光大使になろう」の授業が公開され、市内外より約 250 人の教職員が参観しました。

文科省の直山教科調査官からは、教科化による 70 時間の授業実施を見据えて、60 分授業やパフォーマンス評価に



日下部小での公開授業

対して積極的にチャレンジしていることがすばらしいとの評価がありました。

次期学習指導要領の移行に向けて、週1回の外国語活動の時間の積み重ねを大切にすること、教師一人一人が授業の中で英語を使い指導の充実をはかること等、研究指定校の取組を全ての小中学校の取組へとつなぎ・広げていく必要が今後さらに求められます。

～組織マネジメント、アクティブ・ラーニング～ <甲州市学力向上P講演会、山梨市AL研修会>

1月25日に株式会社 佐藤商会執行役員 黒岩 禅先生をお迎えし、『最高のチーム』をつくる先生の魔法～子どもを育む教育の力～と題して、甲州市「確かな学力」育成プロジェクト教育講演会が行われました。小学校、中学校、高校、それぞれの時代での教師との出会いによって「今の私」がいること、「北風のマネジメント」では、誰も幸せにならないこと、「太陽のマネジメント」を心掛ければ、人は自ら動いていくことなど、講師自身の人生と経験から紡がれる御講演から、多くの御示唆をいただきました。特に、そのマネジメントは一般企業の職場のみならず、どの職種、どの分野においても共通に通用する人間社会のマネジメントと呼べるものであり、教育に携わる我々にとっても、忘れてはならない基本とも言うべきものでありました。

2月20日には、上越教育大学大学院 教授 大場浩正 先生をお迎えし、「共同学習を取り入れた授業づくり～どの教科にも取り入れられる共同学習の基礎（考え方）を学ぶ～」と題して、山梨市アクティブ・ラーニング研修会が行われました。折しも、次期学習指導要領の案が示された直後でもあり、その大きな柱の一つと言える「主体的・対話的で深い学び」を目指す共同学習について学べる貴重な時間でありました。実際にワークショップ形式での研修の中に、こうした学習を下支えする大切な要素について、くり返しおっしゃっていました。「アクティブ・ラーニングは形ではない」こと。こうした学習をすすめるためには、学級集団が良好な状況（親和的な雰囲気、支持的風土）になっていなければ成立しないということです。

今後さらに研究を深め、確かな学力をつけるための授業改善と、それを下支えする学級集団づくりの実践の充実を図っていきましょう。

◆◇H28 峡東教育事務所管内研究指定校 研究ありがとうございました。◇◆

本年度 峡東教育事務所管内研究指定校の各学校には大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。

No	事業名	期間	校種・校名	内容・備考
1	授業改善プラン実践推進校	H26～H28	塩山南小学校	県教委
2			石和南小学校	
3			山梨北中学校	
4			春日居中学校	
5	英語教育強化地域拠点事業	H27～H29	春日居小学校	県教委
6			春日居中学校	
7	初任者研修実習校	H28	八代小学校	県教委
8			塩山中学校	
9	コミュニティースクール	H27～H28	菅川小（牧一小）	県教委
10	コミュニティースクール	H28～H29	菱山小学校	文科省（国）
11	幼児教育振興事業	H27～H28	八幡小学校	県教委
12	幼児教育振興事業	H28～H29	境川小学校	県教委
13	スーパー食育事業	H28	塩山北小学校	文科省（国）・県教委（スポ健）
14	新やまなし道徳教育研究推進事業	H28～H30	一宮西小学校	県教委
15	金銭教育	H28～H29	御坂東小学校	日本銀行・県教委
16	N I E 事業	H28～H29	東雲小学校	日本新聞協会・県教委
17			菅川中学校	
18	学力向上アクティブ・ラーニング	H28～H29	松里中学校	県教委
19	地域で取り組む学校元気アップ事業	H28	日下部小学校	県教委（スポ健）
20			井尻小学校	
21			石和北小学校	
22	少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育（学校統合）	H27～H29	菅川小学校	文科省（国）
23	少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育（人口減少）	H27～H29	神金小学校	文科省（国）
24			大藤小学校	
25			玉宮小学校	

◇◆いきいき教育地域人材活用推進事業◆◇

<活用校の割合>

地域	全校数	活用校数	活用割合	小学校			中学校		
				全校数	活用校数	活用割合	全校数	活用校数	活用割合
峡 東	48	35	72.9%	35	33	94.3%	13	2	15.4%
全 県	254	198	78.0%	174	156	89.7%	80	42	52.5%

児童生徒の体験的な学習の充実を図り、児童生徒の「生きる力」を育むことを目的とした、本事業は平成9年に始まり、20年が経過しました。次期学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」が必要とされ、学校が社会や地域とのつながりを大切にすることが求められております。そういった点からも本事業の人材活用の充実が求められます。 峡東地区では、中学校の活用率向上が課題です。